

# 教科等研究会（小学校家庭科部会）

## 令和4年度 研究活動のまとめ

### 1 研究テーマ

くらしをみつめ、家族や地域の一員として  
生活をよりよくしようと工夫する児童の育成  
～児童が達成感をもち、家庭での実践につながる授業づくり～

### 2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
6/21	11名	白旗小	11/1	10名	嘉島中 片岡佳奈子	12/6	10名	白旗小 実践発表	2/6	14名	益城中央小 松本幸恵

### 3 研究の概要

#### (1) 研究の内容

##### ア 小中合同授業研究会

題材名 中学1年「さまざまな食品とその選択」 授業者 片岡佳奈子 教諭

本題材は、食品が食卓にのぼるまでの流れが分かり、食品の特徴や情報を理解し、目的に応じた選択・保存ができることをねらいとしている。小学校でも、同じように消費者としてどんな視点で商品選択をしていくか考える学習があり、系統立てた学習の大切さを確認できた。

よりよい生活を目指すためにも、生産、流通、消費、環境、使用目的、安全性等の視点を考えて児童が実践できるような授業づくりを工夫して行うことが大切だと確認した。

##### イ 実践発表会

各会員よりテーマに沿った授業実践の発表を行い、児童が達成感をもち、家庭での実践につながるような手立てや評価の工夫について深めることができた。

家庭科の授業において、児童に達成感をもちさせるために人材の活用やICTの活用、そして、家庭とのつながりを意識しながら実践することの大切さを確認することができた。

##### ウ 授業研究会

題材名 5年「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」(開隆堂)授業者 松本幸恵 教諭

資源や環境を大切にするとよりよい生活を目指して、「持続可能な社会の構築」などの視点から課題を持ち、物やお金の使い方と買い物について考えることで具体的な行動につなげることをねらいとした授業に取り組んだ。題材を通して、家族団らんパーティーの買い物を成功させるというゴールを設定し、消費者として目的に合った買い物ができるようにするとともに、「持続可能な社会の構築」という見方・考え方で身近な消費生活と環境について考えていくことができた。

#### (2) 成果と課題

##### ア 小中合同授業研究会

○中学校の学習を参観することで、小学校の学習とのつながりを知ることができ、消費者としてさまざまな視点を持つことの大切さや消費者教育の重要性を実感した。

●目的や環境への意識を持たせ、消費者として様々な視点を考えていけるような授業を工夫していく必要がある。

##### イ 実践発表

○家庭での実践の様子や児童の作品、振り返りにICTを活用することで、児童に達成感をもちせたり、くらしを見つめさせたり、掲示や評価に活用したりすることができた。

●家庭背景により、家庭実践へつなげることが難しいことがあるので、一人一人の学びをどのように保障するか工夫していく必要がある。

##### ウ 授業実践（題材名 5年「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」）

○自分や家族にあった計画的な買い物を実践させるために、単元導入で家族団らんパーティーの買い物を成功させるというゴールを設定したことで、商品選択の際に自分の生活や経験をもとにした発言があり、様々な状況で買い方も変わることを見事に気付かせることができた。

○単元を通して、買い物名人〇筒条をクラス全員で完成させていくなど、学びの足跡が残る工夫があり、子どもの意欲向上につながっていた。

●家庭状況や買い物の仕方も多様化しているため、焦点化するなどの工夫も必要。

4 実践事例

(1) 授業の概要

題材名 5年「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」（開隆堂）授業者 松本幸恵 教諭  
 本題材は、資源や環境を大切にするよりよい生活を目指して、「持続可能な社会の構築」などの視点から課題を持ち、物やお金の使い方と買い物について考えることで具体的な行動につなげることをねらいとしている。題材を通して、物やお金の使い方を理解して、消費者として目的に合った買い物ができるようにするとともに、「持続可能な社会の構築」という見方・考え方で身近な消費生活と環境について考えていく。

(2) 学習構想案

第5学年2組 家庭科 学習構想案

日時 令和5年2月6日（月）第5校時

場所 益城中央小学校 5年2組教室

指導者 教諭 松本 幸恵

I 題材構想

題材名	持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方		
題材の目標	(1) ものや金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。〔知識及び技能〕 (2) 物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につける。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
題材終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
資源や環境を大切にするよりよい生活を目指して、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、物や金銭の使い方と買い物について考え、毎日の暮らしの中でどのような工夫ができるか考え、行動できる児童			
題材を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本題材で働かせる見方・考え方	
買い物名人になって、家族団らんパーティーを成功させよう！		身近な消費生活と環境について、「持続可能な社会の構築」の視点で捉え、今の私たちの生活だけでなく、将来の人々の生活も豊かであるよう考えて生活を工夫すること。	
指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時5/6）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	1	消費者の役割について考える。物を手に入れるためのいろいろな方法を見つける。	★【思】（観察・ワークシート）どのように物と関わって生活しているのか考えている。 ★【思】（観察・ワークシート）どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考えている。
2	2	買い物の方法と種類やいろいろな支払い方法について考え、目的にあった選び方、買い方ができるようになる。インターネットでの取引や消費生活センターについて知る。	★【思】（観察・ワークシート）買い物の中で契約が成立する場面について考えている。 ★【思】（観察・ワークシート）買い物の方法や支払いの方法について考えている。
	3	買い物の手順を知り、商品を選ぶために必要な情報の収集や整理、買い物を振り返ることの大切さについて考える。	★【知】（ワークシート・ロイロノート）買い物の手順について理解している。 ★【思】（観察・ワークシート）商品を選ぶために必要な情報の収集や整理、買い物を振り返ることの大切さについて考えている。
3	4	上手な物の選び方や使い方の学習を通して、環境や資源に配慮した生活の工夫について考える。	★【思】（観察・ワークシート）環境や資源に配慮した、物の選び方と使い方の工夫について考えている。
	5 本時	買い物シミュレーションをする。	★【知】（観察・ワークシート）家族の状況や資源や環境に配慮した買い物ができる。
まとめ	6	家族団らんパーティーの買い物の計画を立てる。	★【知】（観察・ワークシート）上手な物の選び方や、使い方を生かして、環境や資源に配慮した買い物の計画を立てることができる。
	事後	家族団らんパーティーの買い物の報告会をする。	★【態】（観察・ワークシート）どのようなことに気を付けて買い物をしたのかを報告し、持続可能な暮らしのためにこれからの生活に生かしていきたいことを自分の言葉でまとめている。

## 2 題材における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
小学校学習指導要領第5学年及び第6学年 C消費生活・環境(1)物や金銭の使い方と買物 (2)環境に配慮した生活	
教材・題材の価値	
本題材は、資源や環境を大切にすよりよい生活を目指して、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、物や金銭の使い方と買物について考えていくことをねらいとしている。消費者の視点から、毎日の暮らしの中でどのような工夫ができるかを考え、行動につなげていきたい。「持続可能な社会の構築」という見方・考え方で身近な消費生活と環境について考えていくことで、今の私たちの生活だけでなく、将来の人々の生活も豊かであるよう考えて生活することができる実践的な態度を育てたい。	
本題材における系統	
5年 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方	6年 まかせてね 今日の食事
中学1年 技術家庭科 家庭分野 C消費生活・環境	
児童の実態(題材の目標につながる学びの実態)	
<p>■本題材の学習に関する意識の状況(アンケートの結果から)令和4年12月実施</p> <p>①自分だけで買い物をしたことがあるか。 (ある79%、ない21%)</p> <p>②おこづかいを定期的にもらっているか。 (もらっている40%、もらっていない60%)</p> <p>③オンラインゲームやスマホアプリの課金をしたことがあるか。 (ある24%、ない76%)</p> <p>④インターネットショッピングをしたことがあるか。 (ある9%、ない91%)</p> <p>⑤買い物で失敗したことがあるか。 (ある24%、ない76%)</p> <p>■考察</p> <p>アンケートの結果から、子どもたちは、約8割が自分だけでの買い物の経験があり、定期的にもらっているおこづかいだけでなく、お年玉などを使って買い物をしているということが分かる。課金に関しては、したことがある児童もおり、昨年は課金が原因でのトラブルもあっている。インターネットショッピングをしたことがある児童も9%いて、今後インターネットでの物やサービスの購入においてトラブルが起きることも十分に考えられる。</p> <p>また、保護者にもアンケートを実施しており、買い物の工夫や失敗、買う前の情報の集め方などについての回答をもらった。工夫では、環境への配慮や特売やポイントがつく日に買うなどがあつた。失敗は、買いすぎや衝動買いなどである。家族が買い物をする時に一緒について行っているという児童はあまりおらず、どのような工夫や失敗があるかはほとんど知らないか、意識して生活していないと思われる。</p> <p>そのため、本題材において、物やお金の使い方について、家族への聞き取りや友達との交流を通して、生活を豊かにするために消費生活を工夫していくことの大切さを考え、主体的に生活を工夫できる消費者としての素地を育てたい。</p>	<p>① についてどんなものを買ったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子など(22人)      ・文具など(8人)</li> <li>・プレゼント(8人)      ・おもちゃや自分の好きな物など(4人)</li> <li>・洋服など(0人)      ・その他(2人)</li> </ul> <p>② についてどこで買ったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ(24人)・スーパー(13人)</li> <li>・駄菓子屋などの個人商店(6人)</li> <li>・ショッピングモール(4人)</li> </ul> <p>⑤ についてどんな失敗だったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズが合わなかった</li> <li>・買いすぎた</li> <li>・賞味期限が近かった</li> <li>・お金が足りなかった など</li> </ul>

## 3 研究の視点

研究主題
暮らしをみつめ、家族の一員としてよりよい生活を創り出す児童の育成 ~児童が達成感をもち、家庭での実践につながる授業づくり~
研究主題についての取組
(1) 自分と家族との関わりに目を向け、課題に気づく。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事前にアンケートや家族への聞き取りを行い、家族の生活を支えている物や金銭の大切さへの関心を高めさせる。</li> <li>② 買い物シミュレーションでは、異なる家族構成の児童で班を作り、家庭の状況によって買い方に違いが出ることに気づかせるとともに、自分の暮らしだけでなく、友達の暮らしを知ることを大切にする。</li> </ol> (2) 家庭科で学んだことを生活に生かし、実践する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 物を選んだり、買い物シミュレーションをしたりすることを通して、身近な物の選び方や買い方を考え、限りある物や金銭の大切さに気づかせる。</li> <li>② 自分や家族に合った計画的な買い物を実践させるために、家族団らんパーティーの買い物を成功させるというゴールを設定する。ゴールを意識させるために、買い物名人〇箇条を作らせる。今できていることだけでなく、課題を見つけ、めあての設定をしていくことで、実践力を高めさせる。</li> </ol>

#### 4 本時の学習

- (1) 目標  
(2) 展開

自分の家庭に合った買い物や、環境や資源に配慮した選び方をすることができる。

過程	時間	学習活動	教師の発問・指示 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点及び評価等
導入	5分	1 学習のめあてを設定する。 (1) 前時の振り返りをする。 (2) 本時のめあてを立て、学習の見通しを持つ。	○前時までに学習した「買い物名人○箇条」の確認をしよう。 ・どんなものを買えばいいのか情報を集めることが大事だったよ。 ・値段だけでなく、品質や安全性なども重要だった。 ・環境への影響も考えた方がよいね。 ・まだ、自分だけで買い物するのは不安。練習できたらいいのに。	○前時のワークシートと買い物名人○箇条を見ながら振り返り本時の見通しを持たせる。
		【めあて】 買い物名人を目指して、よりよい買い物をしよう！		
展開	30分	2 買い物名人○箇条を元に、買い物シミュレーションをする。  (1) 自分の家庭にあった商品を選び、選んだ理由をワークシートに書く。  (2) 班で交流する。   (3) 班での交流でいいなと思った人を紹介し、全体で交流する。   (4) 自分の買い物シミュレーションを見直し、変更したところを班で交流する。	○いろいろな家庭や状況があります。その中で、よりよい買い物ができるように考えましょう。選ぶ時のポイントはなんでしょう。 ・家族が多いから、買うものの量を考えないといけないよ。 ・環境のことも考えて選びたいな。 ・商品の金額も考えて、選び方を工夫しないとイケないな。  ○班で、自分が考えた買い物を交流しましょう。質問やアドバイスもしましょう。 ・わたしは、表示を見て、九州産と書いてある商品にしました。お母さんがいつも国産のものを買っているからです。 ・わたしはインターネットショッピングの商品を選びました。理由は買い物に行く手間が省けるからです。 ・なぜ、量のわりに高いのに、少ない量の商品を選んだのですか。  ○班の交流でいいなと思った人はいましたか？紹介してください。 ・私は B さんが商品を選んだ理由がいいと思いました。理由は私が気付かなかった視点で商品を選んでいたので。 ・私の家族は7人家族です。なので、たくさん入っている商品を選びました。次の日に、他の料理でも使えそうだしお得だからです。 ・私の家族は3人家族です。人数が少ないので、今までの買い物では、買いすぎて腐らせてしまうことがありました。なので、今回は、少量の物を選びました。環境のことを考えたからです。 ・私の家は、お店まで遠いし、家族も仕事で帰りが遅く、買い物にすぐに行くことはできないので、インターネットでの注文にしました。買い物に行く負担を減らそうと考えたからです。	○買い物名人○箇条を意識しながら買い物シミュレーションをさせる。  ○商品選択の理由や根拠を伝え合わせる。 ○友達のいいところを見つけてながら聞かせる。 ○ロイロノートを見せながら説明させる。  ○友達のいいところを参考にしながら、自分の買い物シミュレーションを見直させる。  【評価】(知識・技能) (ワークシート) 家族の状況や環境や資源に配慮した買い物ができる。
		【到達していない児童への手立て】 ○児童同士の交流を通して、考えの参考にさせる。		
終末	10分	4 本時のまとめをする。  【まとめ】 家庭の状況や環境や資源のことを考えて買い物をすれば、買い物名人になれる。  5 本時のふりかえりをする。 ○買い物シミュレーションをしたふりかえりをする。 ○家族らんパーティーでの買い物をどのようにしたいか見通しを持つ。	○家族らんパーティーの買い物の時に活かそうなことや気を付けたいことは見つかりましたか。 ・買い物をするときは、家庭の状況に合わせて物を選ぶことが大切だということが分かった。 ・家族らんパーティーでは、みんなの好みも大事だけど、環境のことなども考えて買い物をしたいな。	○家族らんパーティーのカード(ロイロ)を見ながら考えさせる。

#### (3) 授業研究・協議を終えて

家庭での実践につなげるためには、児童に目的意識をもたせることが重要であることを実感できた。熊本県立教育センターの高宮かおり指導主事の講話を聞き、消費者教育の重要性や見方・考え方ははたらかせて課題をつかんだり、考え合ったりする授業を工夫する必要があると分かった。評価の仕方についても今後更に研究を深めていくことで、焦点化した授業につながると感じた。